

# 家庭学習(低学年) 毎日続けよう

自分からする、頭をはたらかせる、よい習慣を身に付けよう!

## 大切にしよう～取り組み方～



15～20分



30分



時間



### おすすめ自学

読書	日記・あのねノート	書き写し(ししや)
詩を書く	カタカナ言葉あつめ	漢字の言葉あつめ
工作・絵	調べ学習	その日の学校の勉強をもう一度
問題集	お手伝い	なわとび

## 家庭学習をすることで こんな力を付けよう

1年生でこんな力を付けましょう。

2年生でこんな力を付けましょう。



### 国語

- 教科書を声に出してすらすら読む。
- ひらがなを読む、書く。
- 1年生の漢字を読む、書く。
- 「まず」「つぎに」「さいごに」を使って話す。
- 「は」「を」「へ」を正しく使って文を書く。

### 算数

- 時計を読む。
- 2つの数でパツと10を作ったり、10を分けたりする。
- くり上がり、くり下がりのある計算をぱつとする。

### 学び方

- お家の人と一緒によいので、学習に取り組む。
- その日に学校で勉強したことを家の人に伝える。

### 国語

- 教科書を声に出してすらすら読む。
- カタカナを読む、書く。
- 2年生までの漢字を読む、書く。
- 「まず」「つぎに」「そして」「さいごに」を使って話す。
- 「、」「。」かぎかっこや小さい「ゃ」「ゅ」「ょ」を正しく書く。
- どこで1マス空けるかを考えて書く。

### 算数

- 九九をすらすら言う。
- 時刻と時間が分かる。

### 学び方

- たし算、ひき算の筆算をする。
- お家の人と一緒によいので、学習に進んで取り組む。
- その日に学校で勉強したことを家の人に詳しく伝える。

自分の家庭学習をふりかえろう (○はい △もう少し ×いいえ)	5 /	7 /	10 /	12 /	3 /
① 毎日家庭学習をしている。					
② 言われる前に自分から取り組んでいる。					
③ 学習する時間を決めて取り組んでいる。					
④ テレビや音楽を消して取り組んでいる。					
⑤ 目安の時間(30分)をクリアしている。					

おぢやしょうがっこう 小千谷小学校	1 年	くみ 組	ばん 番	なまえ 名前
----------------------	-----	---------	---------	-----------

# 共学の基礎・基本 ~全校でそろえて指導すること~

「共学の基礎・基本」では、学習の準備や学び方について示しています。「学習の準備、聞く、話す、読む、書く」ことは、学習の基本であり、人とかかわって生活する基本でもあります。基本をしっかりと身に付け、やる気をもって勉強していきましょう。そして、学校でも家庭でも、進んで学ぶ谷小っ子になりましょう。

学ぶ姿勢 (できているかな? Oはい △もう少し Xいいえ)				
5 /	7 /	10 /	12 /	3 /

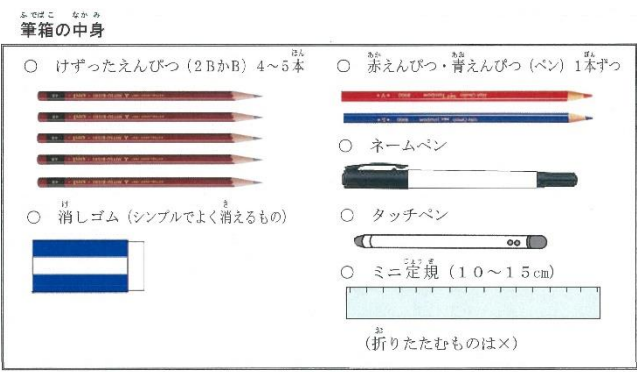
- ★ 足のうらをゆかにつけよう。
- ★ 背中をのぼそう。
- ★ つくえとおなかの間、背中といすの間を少しはなそう。
- ★ 鉛筆を持たない手でノートをおさえよう。

よーいスタート  
↓  
授業に集中



学習用具 (できているかな? Oはい △もう少し Xいいえ)				
5 /	7 /	10 /	12 /	3 /

- ★ すべての持ち物に名前を書く。
- ★ 必要なものだけを持ってくる。



えんぴつの持ち方と授業の準備 (できているかな? Oはい △もう少し Xいいえ)				
5 /	7 /	10 /	12 /	3 /

<正しい持ち方>

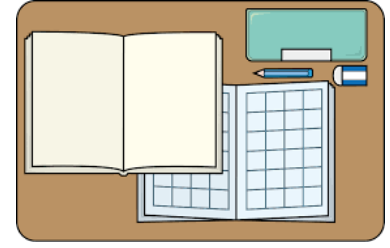
- えんぴつが立ちすぎたり傾きすぎたりしない。
- えんぴつの軸は、親指と人差し指の根元までいかない。
- 小指は軽くまるめて、紙につける。

<気を付けよう>

- △ 人差し指の先が、親指にかかっている。
- △ 親指を人差し指の中に入れる。
- △ 中指もえんぴつの上に乗せている。

- ★ 下じきを使う。
- ★ つくえのまん中で、字が書けるようにおく。
- ★ 線を引くときは、じょうぎを使う。

<つくえの上のようす>



- ★ 授業がおわったら、次の時間の準備をしてから休憩します。
- ★ 授業がはじまる前に席に着き、ノートや教科書を開きます。

## き 聞く～分かるとして聞く～

できているかな？ (〇はい △もう少し ×いいえ)	5 /	7 /	10 /	12 /	3 /
(目) <small>め はな ひと</small> 話す人に、 <small>め からだ む</small> 目と体を向ける。					
(耳) <small>みみ さぎょう</small> 作業をやめて、 <small>くち</small> 口をとじる。					
(心) <small>こころ はな ひと い</small> 話す人の言っていることを、 <small>わ</small> 分かるとして聞く。					

こんな反応はんのうができるきと聞いていることが相手に伝わるよ

- 「ああ」……………うなずき・くび首をかたむける
- 「なるほど」「そうか」…つぶやき
- 「それもそうだよね」
- 「もう一度いちどい言って」
- 「言いいたいことが分わかるき気がする」



## か 書く～ていねいな文字もじで書く～

できているかな？ (〇はい △もう少し ×いいえ)	5 /	7 /	10 /	12 /	3 /
<small>した</small> 下じきを入れる。 <small>ひづけ か</small> 日付を書く。					
マスの中 <small>なか</small> におさまるような大き <small>おお</small> きさで <small>か</small> 書く。					
<small>じぶん かんが</small> 自分の考えを1分 <small>ぶん</small> で1行 <small>ぎょう</small> 以上 <small>いじょう</small> 書く。					

ふり返かえりのポイント

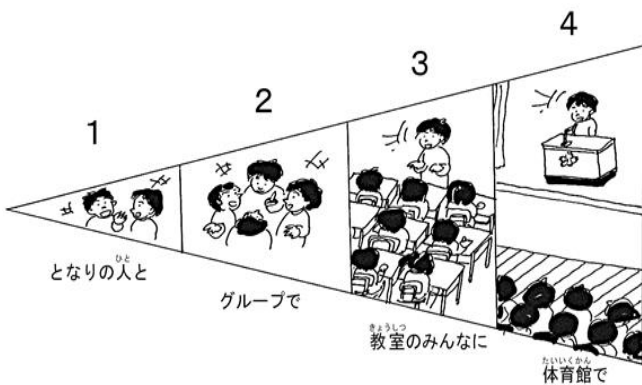
- 「お」おも 思ったこと……〇〇がよわく分わかりました。
- 〇〇がむおもずかしいと思おもいました。
- 「か」かんが 考えたこと……こわうやわったら、もいっといいかもいれないい。
- 〇〇さんかたのやいり方いちばんが、一い番いまくできたな。
- 「き」きづ 気付いたこと…〇〇がだいじ大事きづだなときづ気付ききました。



# 話す ~分かってもらおうという気持ちで話す~

できているかな？ (○はい △もう少し ×いいえ)	5 /	7 /	10 /	12 /	3 /
発言したいときは、だまって手をあげる。					
指名されたら、「はい。」と返事をしてみんなが見える場所に立つ。					
みんなに聞こえる声の大きさを話す。					
理由（「理由は」「なぜかという」と）や順序（「まず」「つぎに」「さいごに」）を表す言葉を使って話す。					

★ 場所にあった大きさの声を出そう。



## <話し方レベルアップ!>

- ★ さし棒を使おう。
- ★ 大事なことをはじめに話そう。
- ★ 相手の反応を確かめながら話そう。

わたしは、～と思います。  
なぜかという～だからです。  
どうですか。



# 読む ~書かれていることを正しく声に出して読む~



できているかな？ (○はい △もう少し ×いいえ)	5 /	7 /	10 /	12 /	3 /
背すじをのばして本を持つ。					
声に出すときは「、」や「。」で間をあける。					
読書のときは、しずかに読む。					

★ 音読のときは、声の大きさ、速さに気を付けて、聞いている人が分かるように読もう！